

## 会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

|              |                                                                                                         |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名        | 令和 6 年度第 1 回高松市自治推進審議会                                                                                  |
| 開催日時         | 令和 6 年 1 0 月 2 日（水）<br>1 0 時 3 0 分～1 1 時 4 5 分                                                          |
| 開催場所         | 高松市役所 1 1 階 1 1 4 会議室                                                                                   |
| 議 題          | （１） 会長・副会長の選任について<br>（２） 高松市自治基本条例の見直しについて<br>（３） 令和 6 年度審議事項<br>市民参画を促進するための効果的な情報発信・共有について<br>（４） その他 |
| 公開の区分        | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開       |
| 上記理由         |                                                                                                         |
| 出席委員         | 高塚会長、上田委員、大美委員、金委員、小西委員、十河委員、竹内委員、吉澤委員                                                                  |
| 傍 聴 者        | 4 人      （定員 2 0 人）                                                                                     |
| 報道機関         | 0 人                                                                                                     |
| 担当課及び<br>連絡先 | 政策課（087－839－2135）                                                                                       |

| 会議経過及び会議結果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>会議の概要は、次のとおり</p> <p><b>議題（１）会長・副会長の選任</b><br/>高松市自治推進審議会条例第 5 条第 1 項の規定により、委員の互選により会長及び副会長が選任された。<br/>（会長 高塚順子委員、副会長 小早川龍司委員）</p> <p><b>議題（２）高松市自治基本条例の見直しについて（資料 2）</b><br/>事務局から、庁内で確認、検証の上、条例の見直しの必要性がなかった旨の説明をした。<br/>（意見なし）</p> <p><b>議題（３）令和 6 年度審議事項</b><br/><b>市民参画を促進するための効果的な情報発信・共有について（資料 3）</b><br/>【事務局から説明】<br/><br/>（委員）<br/>情報発信は「誰に」「何を」伝えたいのかということが大前提である。SNS を活用しようとしていると感じたが、ターゲット層と発信方法、発信する情報の整理が必要ではないか。</p> |

(会長)

「誰に」「何を」伝えるか、伝えるに当たって「どの媒体」を使用するかということは重要である。

アンケート回答者の年代はどのようなになっているのか。

(事務局)

アンケート回答方法は主に郵送であり、回答者は 50 歳代以上が大半を占めている。

若い市民が回答しやすいように SNS を活用したアンケート調査なども研究したい。

(委員)

アンケート結果を見て、利用する SNS と、SNS をよく利用するであろう 20 歳代から 30 歳代を想起すると、実態とアンケート結果との間に乖離が生じている。アンケート結果を基に市の情報発信の方向性を決定するのであれば、20 歳代前後の意見をよく聞くべきである。

(委員)

情報を届けたい相手が、どのようなツールを利用して情報収集しているのかを見極めて情報発信することが必要である。アンケート結果では Instagram の割合が非常に少ないと感じたが、若者世代はほとんど利用している。その世代には Instagram を利用して情報発信するなど、ターゲットを明確にすべきだ。

アンケート方法について、郵送だけではなく、SNS を活用すると、もっと幅広い世代から効果的な回答が得られたのではないかと感じた。

また、市民参画とは具体的にどのようなことが分かりやすく伝わればよい。

(委員)

アンケート回答年代は 50 歳代以上が多いと聞いたが、具体的な数字を教えてください。

(事務局)

18 歳から 20 歳代までが 4.1%、30 歳代が 8.4%、40 歳代が 13.4%、50 歳代が 16.8%、60 歳代が 18.9%、70 歳代以上が 37.9%である。

(委員)

回答者がかなり偏っている。回答者の割合から見ると、より多くの人が利用していると思われる SNS の割合が低い結果は当然である。情報発信は重要課題だが、一方的な発信だけでは、参画までにはつながらない。市政等に対する関心度を高めたうえで、次にどのような関わり方を展開するかということが求められる。

市の出前講座等を開催する際、SNS を利用した申込みや、講座の実施などの方策もあると考える。

(会長)

実践できる可能性のあるアイデアを発言いただいた気がする。

(委員)

総合計画の概要版を作成されているが、表紙を見ただけでは興味を持たれない。高松市の目指す未来の都市像などを表紙に記載した方が手に取られると思う。

私は、高松市の LINE を初めて知ったため、今登録した。高松市役所では多くの会議を開催しているので、会議資料に SNS の QR コードを印刷して、広報の場として活用すべきである。

NPO 活動を行っているが、活動広報のためのコミュニティセンターへのチラシ配布は自身で行ってほしいと案内される。市と市民とが、相互に参画する必要がある。

(委員)

市民参画がしやすい情報発信には、ICT 活用の議論も必要だと考える。施設予約は既に ICT を活用していると思うが、どのあたりまでが参画に含まれるのか。

計画策定に際し、調査は必要だが、データ収集や分析の方法を間違えると判断を誤らせるので、注意する必要がある。

(事務局)

ICT の活用については、例えば市民に参加いただける催事や講義等については、従前は窓口やはがき、電話、FAX などの申込方法だけだったが、Web 申込みを用意している場合もある。

(委員)

市民参画の促進という捉え方が難しい。

(会長)

本日は、様々な年代の市民に情報を届けるための方策の話を中心にできればと考えている。

(委員)

自治推進が行政の一方的な旗振りに終始しているように感じる。参画への取組も進んでいるように感じられない。

高齢者がデジタルに親しめる環境は整っているようで整っていない。デジタル技術を活用して暮らしをより良いものにしていくことはできと思っていたが、行政の動きが遅い。よりスピードを上げてデジタル技術を活用して市民参画を促進してほしい。

(委員)

広報高松は、以前は 1 か月に 2 回配布されていたが、現在は 1 回になり、情報量が若干

減ったと感じている。月 2 回配布に戻すことも検討してほしい。また、たかまつ市議会レポートについても、市の問題点になっている質問を目立つようにするなどの工夫も必要だと考える。

(会長)

実践可能性の高い内容から、検討が必要なものまでたくさんの御発言をいただいた。

情報が伝わるためにどのようにする必要があるかということは、しっかり考えていかねばならない。

(委員)

市政情報を踏まえ、市民活動が見えるような、双方向の情報伝達が可能な場づくりについて考えることは良いことだと思った。現実の場でも、デジタル技術を活用しても実現できることを期待したい。

#### **議題（４）その他**

(事務局)

本日いただいた意見を踏まえ、今後も自治推進に取り組んでまいりたい。

以上